



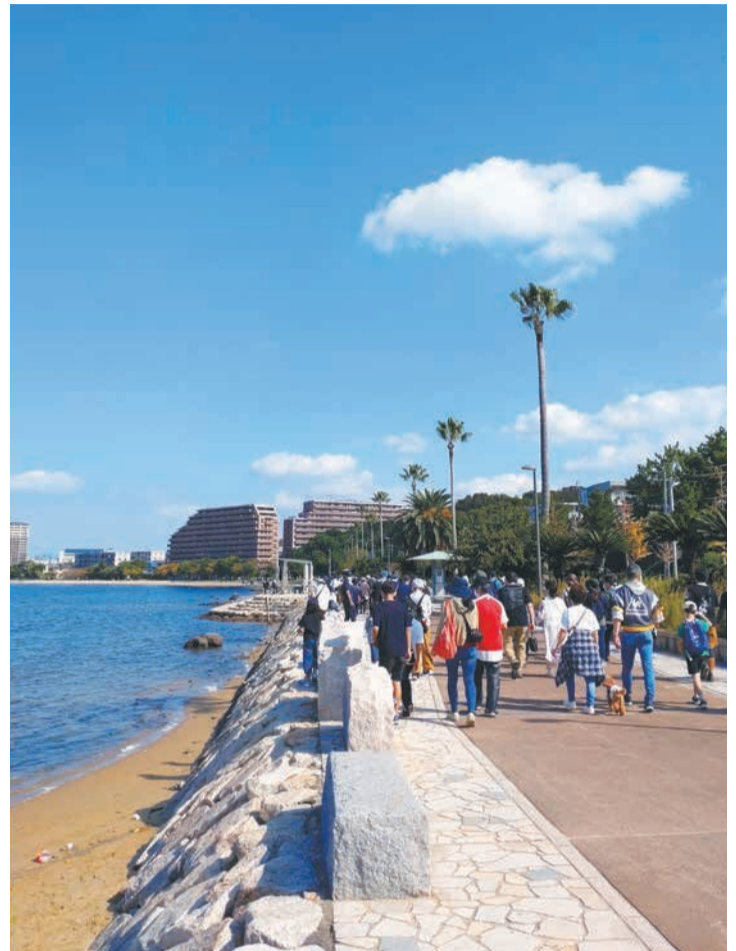
福岡市政だより

令和5(2023)年

10/1

No.1740

2月に実施されたアラカンフェスタ(福岡国際会議場)



昨年10月に東区で行われた「おもろいウォーキング」(片男佐海岸)

福岡100フェスティバル

博多区大博通り西側歩道に登場した「歩きたくなる歩道」



障がい者スポーツ大会のフライングディスク競技(博多の森陸上競技場)

自分らしく楽しもう

市長からのメッセージ

市は、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で何歳からでもチャレンジできるまちを目指して、「福岡100」の取り組みを推進しています。

いくつになっても自分らしく人生を楽しむためには、日々の過ごし方がとても重要です。そこで、幅広い世代の皆さんに日頃の運動不足の解消や健康づくりのきっかけにしておうと、「福岡100フェスティバル」を開催します。「人生100年時代を自分らしく楽しむ」をテーマに、11月まで市内各所で30以上の市民参加型イベントが行われます。この機会に皆さんも、ぜひ興味のあることに挑戦してみてください。

福岡市長 高島宗一郎



- <特集>福岡100フェスティバル..... 1-3
- 新型コロナ関連情報..... 4
- 子ども医療費の助成対象を高校生世代まで拡大..... 5
- 公立夜間中学新入生募集..... 6
- インフルエンザの予防接種について..... 7
- 情報BOX..... 8-15
- 区版..... 16

※本紙掲載の情報は9月14日時点のものです。

・中面折り込み「もっと知りたい!家庭ごみの分け方・出し方」

人口 1,641,854人 (前月比1,051人増) 男=774,539人/女=867,315人	面積 343.47km²
世帯数 870,597世帯 (前月比523世帯増) ※人口と世帯数は令和5年9月1日現在推計	ダムの貯水率 86.59% (9月14日現在)

- 市役所代表電話..... ☎711-4111 (市外局番は092)
- 市政に関するご意見・要望・相談..... 広聴課 ☎711-4067 📠733-5580
- 福岡市政だよりの配布..... 毎日メディアサービス ☎0120-359-303



SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、持続可能な社会の実現を目指す17の国際目標です。福岡市は、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。

福岡100フェスティバル

楽しみながら自分らしく生きる

福岡100フェスティバル



市は、「人生100年時代を自分らしく楽しむ」をテーマに、市民参加型イベント「福岡100フェスティバル」を開催します。イベントに参加して、人生100年時代の暮らし方のヒントを見つけてください。

市民の皆さんが何歳になっても自分らしく暮らしていけるよう、市は健康・医療・介護等の分野への取り組み「福岡100」プロジェクトを進めてきました。

これに「活躍」「つながり」「自己選択」をキーワードに加え、幸せを感じながら生きがいを持って暮らせるまちを目指しています。

市は「福岡100フェスティバル」と題して、幅広い世代を対象に、11月まで市内各所で30以上のイベントを開催します。高齢者や介護が必要な人に限らず、誰もが若いうちから健康について考え、運動や人とつながる活動を日頃の生活に取り入れ

ず、誰もが若いうちから健康について考え、運動や人とつながる活動を日頃の生活に取り入れ

てもらうための催しです。この機会に、ぜひ興味のあることにチャレンジしてみてください。詳細は、ホームページ「福岡100フェスティバル」で検索)に掲載しています。

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

この機会に、ぜひ興味のあることにチャレンジしてみてください。詳細は、ホームページ「福岡100フェスティバル」で検索)に掲載しています。

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録イベント募集

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

登録すると、市が一体的に広報を行うほか、福岡100フェ

福岡100とは

「福岡100」は、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能なまちを目指すプロジェクトです。性別や年齢、環境、障がいの有無にかかわらず、市民一人一人が自分の幸せや自己実現のために、何歳からでもチャレンジできるまちを目指します。

2017年に始まった同プロジェクトは、昨年目標よりも2年早く100のアクション(取り組み)を達成しました。



障がいや難病などで外出が困難な人たちが、分身ロボット「オリヒメ」を自宅のパソコンから遠隔操作し、会話や商品説明業務を行う実証事業も福岡100の取り組みの一つ

福岡100をアップデート

幸せに充実した人生を送る「ウェルビーイング」や、誰もが社会の一員として分け隔てなく生きる「インクルーシブ」など新しい価値観が浸透してきました。このような社会の変化を踏まえ、市は、健康寿命を伸ばしながら豊かな人生を送ってもらうために、福岡100をさらに充実させていきます。

介護が必要になってもその人らしく



ふくおか元気向上チャレンジ講演会

市は、アラカンフェスタと同日・同会場で、タレントの島田洋七氏=写真=による講演会「笑顔で生きんしゃい!明日も笑おう!」を開催します。



撮影: 榎木 功
エッセイ「老人初心者の覚悟」は重版中

島田洋七氏が、義母への13年間の介護体験や、映画にもなった祖母との幼少期の物語「佐賀のがばいばあちゃん」の話を交え、介護が必要になってもその人らしく生きていくことの大切さなどについて話します。笑いあり涙あり、老若男女楽しめる内容です。

10月21日(土)午前10時~11時半(9時開場) 福岡国際会議場(博多区石城町)3階ホール 先着1,000人 無料 不要 ※会場での誘導・車椅子支援、手話、要約筆記の希望者は電話かメールで問い合わせ先へ。

「ふくおか元気向上チャレンジ」について、詳細は市ホームページ(「ふくおか元気向上チャレンジ」で検索)に掲載しています。

問い合わせ先/ふくおか元気向上チャレンジ事務局 ☎721-9670 ✉fko20dai2@athuman.com



アラカンフェスタ開催

生活スタイルの転換期を迎える60歳前後(アラカン)世代のためのイベント「アラカンフェスタ」を、福岡国際会議場(博多区石城町)で開催します。入場は無料で、申し込み不要です。「セカンドライフ」を楽しみませんか。

「親の介護と自分アラカンに備える」(午後1時~) 作家・エッセイストのみならず、キャスター、俳優など多方面で活躍する阿川氏が、実際に経験した介護の話や60代を楽しく

生きるための秘訣について話します。サイン会もあります。定員は1000人。※優先入場枠(500人)は、10月10日(火)までに電話かファクス、または公式ラインで申し込みを。

阿川和子氏基調講演(3階ホール) 「親の介護と自分アラカンに備える」(午後1時~) 作家・エッセイストのみならず、キャスター、俳優など多方面で活躍する阿川氏が、実際に経験した介護の話や60代を楽しく



桂福点氏



桂そうば氏

福岡100フェスティバル

ふくおかカイゴつながるプロジェクト

10月7日(土)午前10時～午後4時

介護職を目指す学生たちや介護福祉系団体等による催しが、市役所西側ふれあい広場で開催されます。



ステージでは、車いすユーザー・渋谷真子さん=写真=のトークショーや、ダンス

パフォーマンスが行われます。各種体験コーナーや飲食ブースもありますので、気軽にご参加ください。

■問い合わせ先/ふくおかカイゴつながるプロジェクト事務局 ☎645-0800 F645-0801

まちかどリビング in 大博通り

10月24日(火)～26日(木)午前8時～午後7時

博多区大博通りの西側歩道に新しく整備された休憩スポットを活用して、10月24日(火)から3日間イベントを開催します。歩道での新たな過ごし方を体験し、まちなかを歩く楽しさを感じてください。



「歩きたくなる歩道」

■問い合わせ先/保健医療政策課 ☎707-1063 F733-5912

第1号登録イベント

福岡100フェスティバルウオーク

健康づくりに役立つ無料ウオーキングアプリ「ふくおか散歩」を使って、10月～11月に開催される福岡100フェスティバルのイベントに参加するウオークラリーです。各会場に設置された二次元コードを読み込むと500ポイントを受け取れ、たまったポイントは、プレゼント抽選や福引に使えます。楽しみながら歩きましょう。詳細は、ホームページ(「ふくおか散歩」で検索)でご確認ください。問い合わせは、メール(☎fukuoka100.PWB@city.fukuoka.lg.jp)で福岡100推進課へ。



スマホはこちらから

今村敦子



中島浩一



岡本ヒロミツ



こはまももこ



ラジオパーソナリティーII左写真IIと一緒に、さまざまな競技を楽しみます。日頃の運動不

ろい運動会」を開催します。市は、市民の皆さんに健康づくりへの関心を高めてもらおうと、FM福岡のラジオ番組「モーニングジャム」と提携し、「おもしろい運動会」を開催します。

10月は健康づくり月間です
自分のペースで健康づくり
おもしろい運動会

足を解消し、自身の健康づくりのきっかけにしてください。

■10月22日(日)午前9時～午後0時半(8時15分受け付け開始) ※小雨決行、荒天中止 所博多の森補助競技場(博多区東平尾公園) 対市内に住むか通勤・通学する人(競技への参加は小学生以上) 定200人(応募多数の場合は抽選) 料無料 申下記コードの申込フォームで、10月3日(火)までに申し込みを。当選者には、通知はがきを10月10日(火)に発送します。

問い合わせは、FM福岡内おもしろい運動会事務局(☎791・7290 F533・0801)へ。

■各回20人 料無料 申右下コードの専用フォームから各教

ア大名

7時半 所十八ビル

●優雅に健康バレティスII

10月28日(土)午前10時半～11時半

所クレア大名(中央区大名一丁目)▽11月1日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

●ピラティスで無理なくボディメイクII

11月15日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

11月18日(土)午後2時～3時 所クレア大名

■各回20人 料無料 申右下コードの専用フォームから各教

ア大名

7時半 所十八ビル

●優雅に健康バレティスII

10月28日(土)午前10時半～11時半

所クレア大名(中央区大名一丁目)▽11月1日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

●ピラティスで無理なくボディメイクII

11月15日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

11月18日(土)午後2時～3時 所クレア大名

■各回20人 料無料 申右下コードの専用フォームから各教

ア大名

7時半 所十八ビル

●優雅に健康バレティスII

10月28日(土)午前10時半～11時半

所クレア大名(中央区大名一丁目)▽11月1日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

●ピラティスで無理なくボディメイクII

11月15日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

11月18日(土)午後2時～3時 所クレア大名

■各回20人 料無料 申右下コードの専用フォームから各教

ア大名

7時半 所十八ビル

女性向け
エクササイズ体験教室

30代から50代までの女性を対象に体験教室を開催します。

●運動ぶきつちゃんソフ

トエアロビII

10月14日(土)午前10時半～11時半 所クレア大濠公園(中央区大手門二丁目)▽10月18日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル(中央区渡辺通二丁目)

●優雅に健康バレティスII

10月28日(土)午前10時半～11時半

所クレア大名(中央区大名一丁目)▽11月1日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

●ピラティスで無理なくボディメイクII

11月15日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

11月18日(土)午後2時～3時 所クレア大名

■各回20人 料無料 申右下コードの専用フォームから各教

ア大名

7時半 所十八ビル

●優雅に健康バレティスII

10月28日(土)午前10時半～11時半

所クレア大名(中央区大名一丁目)▽11月1日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

●ピラティスで無理なくボディメイクII

11月15日(水)午後6時半～7時半 所十八ビル

11月18日(土)午後2時～3時 所クレア大名

■各回20人 料無料 申右下コードの専用フォームから各教

ア大名

7時半 所十八ビル



バレティス教室



室の申込期限を確認の上、申し込みを。定員を超えた場合は抽選。参加してアンケートに答えると西日本新聞文化サークルで利用できる1000円券を進呈します。問い合わせは、メールで体験教室受付事務局(☎chiki@nishinippon-rp.jp)へ。

他にも市ホームページ(「福岡市健康づくり・スポーツサイト」で検索)に、日々の健康づくりに関する情報を掲載しています。記事に関する問い合わせは、健康増進課(☎711・4374 F733・5535)へ。

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

【連載】アジアのトップアーティストたち

来年4月9日(火)まで、ベストコレクション展が開催されています。この連載では、同展に展示するアジアのトップアーティスト10人の代表的な作品を紹介します。

第1回 ファン・リジュン

同じ顔、同じ表情、同じ格好のスキンヘッドの青年は、作者自身です。革ジャンのポケットに手をつっ込み歩く姿は、まるで徒党を組む無頼漢のようでしょう。

この作品が描かれた1992年、中国北京郊外の円明園(清の時代に築かれた離宮の遺構)に若い画家たちが集い、スタジオを構えていました。1989年の天安門事件の余波が残る時代です。自由に表現することは難しく、画家たちは先の見えない不安を抱えながらも、状況を打ち破ろうと模索していました。その中から、矛盾に満ちた体制や

社会の息苦しさを風刺する絵画が、新しい潮流となっていきます。その渦の中心にいたのが、不遜な笑みを浮かべた自画像で一世を風靡(ふうび)したファン・リジュンでした。本作は、彼の代表的なシリーズのうちの一点です。

同シリーズには、暗雲を予感させる空の下、ゆがんだ顔に薄笑いを浮かべる青年が何人も登場します。作者は、「同じ」青年をコピーするよう繰り返すことで、個性を奪われた無抵抗な人々を生み出す抑圧的な世の中を映しています。こうした表現自体が、閉塞的な社会に対する作者のささやかな抵抗でした。(学芸員 ラワンチャイクン寿子)



ファン・リジュン(方力鈞)
《シリーズ2 No.3》1992年
油彩・画布

福岡アジア美術館アジアギャラリー(博多区下川端町 リバレインセンタービル7階) ☎263-1100 F263-1105 開午前9時半～午後6時(金・土曜日は8時まで)。入室は閉室の30分前まで 休水曜日(来年1月3日、3月20日は開館)、12月26日～1月1日、3月21日 料一般200円、高大生150円、中学生以下と市内に住む65歳以上は無料